



まちの話題



自分で作った凧を揚げて元気に走る子どもたち



10 天まで届け！復興の祈り 年の歴史に幕

第10回凧上げ大会は12月13日、三ヶ尻地区生涯教育センターで行われました。東日本大震災後、復興への祈りを込めて始まった本大会は10回目を迎え、最後の大会となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、B級グルメ大会を中止して行われた大会には地区民ら約200人が参加し、復興の祈りを凧にのせて届けました。参加した高橋愛輝くん（三ヶ尻小4年）は「いつもより凧が揚がって楽しかった」と笑顔で話していました。

千葉正男会長（左）から特別表彰を受ける黒沢一男顧問（右）



ス 町陸上競技協会創立50周年記念式典 スポーツ振興に半世紀尽力

町陸上競技協会創立50周年記念式典が12月12日、中央生涯教育センターで開催されました。式典では、これまでの協会設立や協会運営に尽力した役員ら9個人2団体に対して表彰・感謝状が贈られ、さらなる陸上競技と生涯スポーツの普及に誓いを新たにしました。町陸上競技協会千葉正男会長は「指導者育成や競技力の向上に力を入れ、さらなる陸上競技の普及を担うべく努力していくことを誓う」とあいさつしました。

1 令和2年度プログラミング教育研修会 C T (情報通信技術) の理解深める

町教育委員会は1月5日、プログラミング教育研修会を開催しました。町内小学校の教諭らが参加し、県立総合教育センターの太田 崇 研修指導主事による「プログラミング教育のこれからについて」と題した講義のほか、演習を通じて学校教育におけるICT化の重要性や実践例について理解を深めました。



プログラミング教育について理解を深める参加者たち

サンタさんからプレゼントを受け取る子どもたち



謎 「キッズくらぶ」季節行事クリスマス会 解きゲームに挑戦

「キッズくらぶ」のクリスマス会が12月19日、中央生涯教育センターで行われました。町内の小学生33人が参加し、グループごとに分かれて全4問の謎を解きながら、館内に閉じ込められたサンタさんを救出しました。謎解き後、救出してくれたお礼としてサンタさんから参加者にプレゼントが渡されました。

防 水沢電力センターから町社会福祉協議会へ 災備蓄用品を寄贈

東北電力ネットワーク(株)水沢電力センターは1月7日、町社会福祉協議会に防災備蓄用品190食を寄贈しました。町社会福祉協議会高橋範夫会長は「生活困窮者などに有効活用していきたい」と話していました。寄贈された防災備蓄用品は、生活困窮者を中心に順次配布されています。



水沢電力センター後藤所長(左)から目録を受け取る高橋会長(右)

まちの安全を祈願しお払いを受ける町消防関係者



無 町消防団年頭祈願、消防関係町長表彰伝達 火災、無災害の1年に

町消防団の年頭祈願が1月10日、金ヶ崎神社で行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席者を制限し、まちの安全と団活動の無事を祈りました。また、今年は消防出初式の中止を受けて、消防関係町長表彰を、町消防団千葉正男団長に代表して表彰伝達しました。